

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	情報リテラシー
科目基礎情報					
科目番号	0011		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建設システム工学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	Moodle 講義				
担当教員	小野澤 光洋				
到達目標					
①情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。 ②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。		情報処理の基本概念と基礎技術の理解し、基本的な事柄を説明できる。		情報処理の基本概念と基礎技術の理解し説明できない。
評価項目2	情報処理の基本技術の理解と操作ができる。		情報処理の基本技術の基本的な理解と基本的な操作ができる。		情報処理の基本技術の理解と操作ができない。
評価項目3	情報活用の有効性の理解と利用ができる。		情報活用の有効性の基本的な理解と基本的な利用ができる。		情報活用の有効性の理解と利用ができない。
	各種アプリケーションソフトの活用ができる。		各種アプリケーションソフトを利用することができる。		各種アプリケーションソフトを利用できない。
学科の到達目標項目との関係					
(A) (B)					
教育方法等					
概要	Windows等に関する講義と実習を行いながら、情報処理の基本概念と技術を理解する。又、各種アプリケーションソフトを幅広く使用し、情報処理の基本技術を習得すると共に、情報活用の有効性を体験・学習する。				
授業の進め方・方法					
注意点	定期試験と定期的に演習課題を実施する。評価は定期試験(60%)と演習課題の内容(40%)を総合的に判断して評価する。また、到達目標の各項目の達成度を成績評価基準とする。 資料等はMoodleにアップロードする。 e-mail: onozawaアットマークg.maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, コンピュータの利用について	①情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。	
		2週	コンピュータの概論, マウスの基本操作, キータイプ練習	①情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。 ②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。	
		3週	ネットワーク入門, 電子メールの基本知識と操作及び設定	①情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。 ②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。	
		4週	ウインドウズの操作の基礎, データ操作の基礎	①情報処理の基本概念と基礎技術を理解し説明できる。 ②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。	
		5週	ワープロソフトを使っの簡単な文書作成	②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		6週	ワープロソフトを使っの簡単な文書作成	②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		7週	まとめの演習問題	②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却, 到達度確認	②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		10週	表計算ソフトを使っの簡単な計算処理	②情報処理の基本技術の理解と操作ができる。 ③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		11週	表計算ソフトを使っの簡単な計算処理	③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		12週	表計算ソフトを使っのデータベース機能の利用	③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		13週	プレゼンテーションソフトの活用	③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	
		14週	プレゼンテーションソフトの活用	③情報活用の有効性の理解と利用ができる。 ④各種アプリケーションソフトの活用ができる。	

		15週	まとめの演習問題	3 情報活用の有効性の理解と利用ができる。 4 各種アプリケーションソフトの活用ができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	1	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0